

【令和7年度実施】大学機関別認証評価における改善・指摘事項 対応状況一覧
(岐阜大学)

結果通知	評価機関	改善・指摘事項	改善・指摘事項への対応
令和8年3月	独立行政法人 大学改革支援・ 学位授与機構	地域科学研究科修士課程において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。また、連合農学研究科博士課程において、実入学者数が入学定員を大幅に超えている。	<p>【地域科学研究科修士課程】 (令和8年5月末時点の対応状況)</p> <p>地域科学研究科修士課程では、入学定員適正化を図るため、学部生を対象とした大学院進学説明会を毎年2回開催するとともに、社会人学生や外国人留学生を含む進学希望者に対する広報活動を積極的に実施してきた。このような取組により、令和8年度入試(令和7年度実施)における志願者合計は22名(定員20名)、入学者17名、単年度における入学定員充足率は85%となり、改善に向けた取組の成果が表れている。今後も入学定員の充足に向けて、ストレートマスターや社会人学生など内外への広報活動を継続するとともに、外国人留学生の受け入れ体制の整備を進める。</p> <hr/> <p>【連合農学研究科博士課程】 (令和8年5月末時点の対応状況)</p> <p>連合農学研究科博士課程では、入学定員適正化を図るため、英語特別プログラムなどの入試で合格基準の見直しを行った。このような取組により、令和8年度入試(令和7年度実施)における志願者合計は20名(定員20名)、4月入学者16名、10月入学予定者3名、単年度における入学定員充足率は4月1日時点で80%(10月入学者を含まない)となり、改善に向けた取組の成果が表れている。今後は、現状分析を踏まえた将来に向けての方策の1つとして、定員増も検討する。</p>